

平成29年 第9回 定例

摂津市教育委員会会議録

開催日時 平成29年9月20日(水) 午後2時00分開会
午後3時40分閉会

開催場所 摂津市役所 本館3階 301会議室

付議事件

議案番号	件名	審議結果
41	摂津市立小中学校結核対策委員会委員の委嘱又は任命の件	承認
42	平成29年度進路指導主事任命の件	承認
43	平成29年度一般会計補正予算第3号原案承認の件	承認
44	平成29年度全国学力・学習状況調査の結果公表の件	承認
45	平成29年度中学生チャレンジテスト(3年生)の結果公表の件	承認
46	摂津市立小中学校結核対策委員会への諮問の件	承認

報告事項

件名
事業実施に伴う後援等名義の使用許可について
摂津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
摂津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
平成29年度8月までの問題行動等報告について
平成29年度8月までの問題行動等報告具体的事案について
各課事業日程報告について

その他

件名
摂津市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(案)について
摂津市立小中学校結核対策委員会からの答申について

出席者

委員 長 委員長職務代理者	大矢優子 福元 実	教育総務部参事 兼子育て支援課長	石原幸一郎	総務課長代理 兼保健給食係長	藤原英昭
委員	山手知栄子	総務課長	溝口哲也	子育て支援課長代理	
委員	西川俊孝	生涯学習課長	柳瀬哲宏	兼子育て支援係長	湯原正治
教育 長	箸尾谷知也	こども教育課長	浅田明典	こども教育課長代理	星野涼子
教育次長兼教育総務部長	北野人士	学校教育課長	野本憲宏	総務課総務係長	岡田哲也
次世代育成部長	前馬晋策	学校教育課参事 兼課長代理	奥野友紀	総務課係員	窪 秀昭
		教育支援課長 兼教育センター所長	撰田裕美		
		教育支援課参事 兼課長代理	大崎貴子		

委員長

ただいまから、平成29年第9回教育委員会定例会を開催いたします。本日の署名委員は福元委員長職務代理者です。よろしくお願いいたします。

本日は付議事件が6件、報告事項が6件、その他が2件ございます。

まず、本日の議事進行について各委員にお諮りします。

議案第46号、報告事項(5)、その他(2)につきましては、個人が特定される恐れがあるため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項の規定によりまして、秘密会として行いたく存じます。

従いまして、議案第41号から審議し、続いて、「報告事項」、「その他」へ進み、「議案第46号」、「報告事項(5)」、「その他(2)」を除き、すべてを終えた後に、暫時休憩を取ります。引き続き秘密会を宣言し、「報告事項(5)」、「議案第46号」、「その他(2)」の順に進みますが、これらについて関係部課長の出席を求め、再開をしたいと思います。皆様ご異議ございませんでしょうか。

全委員

異議なし。

委員長

異議なしとのことですので、本日の議事進行につきましては、ご説明したとおり進行いたします。

それでは、議案第41号、「摂津市立小中学校結核対策委員会委員の委嘱又は任命の件」について、総務課から説明をお願いします。

総務課長

議案第41号、「摂津市立小中学校結核対策委員会委員の委嘱又は任命の件」について、ご説明申し上げ承認を求めるものです。

【以下、議案書等により説明】

委員長

説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等はございますか。それでは特にございませんので、議案第41号、「平成29年度摂津市立小中学校結核対策委員会委員の委嘱又は任命の件」については承認いたします。

では、続きまして、議案第42号、「平成29年度進路指導主事任命の件」につきまして、学校教育課より説明をお願いします。

学校教育課参事 議案第42号、「平成29年度進路指導主事任命の件」について、ご説明申し上げ承認を求めるものです。

【以下、議案書等により説明】

委員長 説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等がございますか。進路指導主事の主な仕事の内容はどのようなものでしょうか。

学校教育課参事 生徒の職業選択や進路選択について、指導や対外的な業務を行っています。例えば、各校での進路の情報の共有や進路便りの作成により、情報を周知し、また会議に出席しています。

委員長 他に何かご意見・ご質問等がございますか。それでは特にございませんので、議案第42号、「平成29年度進路指導主事任命の件」については承認いたします。

では、続きまして、議案第43号、「平成29年度一般会計補正予算第3号原案承認の件」につきまして、総務課より説明をお願いします。

総務課長 議案第43号、「平成29年度一般会計補正予算第3号原案承認の件」について、ご説明申し上げ承認を求めるものです。

【以下、議案書等により説明】

総務課長
こども教育課長
教育支援課長

委員長 説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等がございますか。教育センターの改修について、どのように考えてらっしゃるか、おおよその内容を教えていただけますか。

教育支援課長 現在、教職員の研修をする際に、参加者を収容できる会議室等がありませんので、その部屋を確保すること、1階に適応指導教室を移動しまして、そこでの活動を含めて、より学校復帰を目指した支援を行いやすくすること、2階を中心として、教育相談、市民や学

校からの相談を受けること等を目的とする部屋の改修を考えております。

また、現在、施設内各階のトイレに、男子トイレが個室1つ、女子トイレが個室2つしかないという状況ですので、今よりも多くの者が施設を利用する時の人数を考えますと、現状のトイレの個数では問題が生じますので、トイレの改修も併せて行いたいと考えております。

委員長

今、施設が2つあり、1階は障害者総合支援センターで、2階は教育センターとなっています。1階にも自動扉の入り口があるので、そこをパルとして使うという構想は、非常に適しているのではないかと思います。

委員長職務代理者

最近、バリアフリー化を進めていく方向にありますが、改修する時に、例えば、エレベーターをつけること等は考えておられないのですか。

教育支援課長

障害のあるお子さんについての相談や、就学にあたっての相談をされる際に、バギー等を使用されている場合もありますので、施設の目的からしますとエレベーターはあった方がいいと思いますが、今回の計画の中には入っていません。

委員長

障害者総合支援センターの移転先ですが、そちらもエレベーターはない予定で、相談としては1階で対応するという事です。

教育センターでもその様になるのでしょうか。現在、階段で足の不自由な方が困っているということはないのでしょうか。

教育支援課長

可能であれば1階で行うのが望ましいと思うのですが、現在の施設を活かしながらの改修ということですので、今の施設の構造から、相談は2階になります。その場合は現在、職員が介助をして、対応しておりますので、今後もその方向になると思っています。

委員長職務代理者

将来的にそういう考え方も入れていただければいいと思います。

西川委員

例えば摂津市の場合、不登校の課題がありますし、また、若い先

生が増えていますので、研修についても計画的、総合的に進めていかなければならないと、学校訪問の際に感じました。

今後、5年先、10年先を見据えた中で、この教育センターが摂津市の教育にとって、重要な役割をどう果たしていくのかというビジョンを含めて、トイレの増設やエレベーターの設置といったハード面や、ソフト面に関することについて、具体的に聞かせていただきたいと思っています。

次世代育成部長

かつて教育研究所時代は鳥飼小学校の正門横にございました。それが今の場所に移転しまして、教育センターと改称しました。

移転するにあたって、研修機能と相談機能の充実を図り、適応指導教室を設置して、不登校対応も行いながら、教職員の研修の充実と、様々な教育に係わる相談を充実していこうと考えました。

その考え方を更に充実させていきたいということは変わっていませんし、現状の場所が適切かどうかという事も含めまして、今後検討もしていきたいと思います。

鳥飼地区に教育研究所があった時代は、鳥飼方面の方は便利ですが、市の中央部ではないので、研修という面で言えば、機能としては不十分だということはありません。その後、市の中央部に移転してきて、さらにどういう施設がいいのかということも今後、検討する必要あると考えています。

現在の施設は、婦人労働会館、男女共同参画センターとして使われていたもので、昭和46年に建設されたものです。建設されてからも長く経っていますし、現在、本市の様々な公共施設が建設されてから、年数が経っています。

今後、我々も要望として構想をまとめながら、公共施設のあり方を見直す様々な計画の中で、一緒に検討していきたいと考えております。

西川委員

先ほど、トイレの話をお聞きしたら、1個しかないということですので、たくさん先生方が集まったり、あるいは、子どもたちの相談の機能が、集約されていったりすると、機能するうえで大丈夫だろうかと思っています。

全体の中で、教育センターの位置づけは大事だと思いますので、我々も何かできることがあれば、何とかいい方向で実現していただ

きたいと思っています。

委員長職務代理者

今、西川委員から将来的な構想について仰っていただきましたが、教育センターは重要な位置にあると思います。

出来るだけたくさんの方がそこを利用できなければいけません。もちろん教育関係者が利用するというようなことがメインになると思います。これからも、教育を取り巻く状況には、日々、新たなものが入ってきます。

その中で、先生方が集まって研修する場所を確保する必要があると思います。教育センターをそういう中核的なものに位置づけていく必要があると思います。

その時に、「摂津市の施設は大勢集まれない」とか、「不便がある」と言うような支障があってはいけないと思います。

ですから、その全体構想をどう位置づけるかというのは、教育委員会としても、将来のことを見据えていかなければいけませんので、トイレの問題等は、すごく大きな問題だと思います。将来について、よく見据えていくというのは、事務局もそうですし、我々もそういう立場にあると思っています。

委員長

将来的に大きな構想を描いて、摂津の中心になるような施設を目指していただきたいと思います。

委員長職務代理者

場所や予算について、いろいろな制約があると思います。その中でより良いものを目指すためにも、予算は市長部局で決まるものですが、教育委員会ではそのような構想を持っておかないといけないと思います。

委員長

教育センターではいろんな方に教育委員会にかかわっていただいて、点検評価報告書でもたくさん触れています。その中で、研修や連絡会議等で非常に重要な位置を占めておりますので、ぜひ場所を確保していただいて、中身も充実していきまして、摂津の教育をよりよく進めていく、そういう大きな構想をもっていただきたいと思います。

他に何かご意見・ご質問等はございますか。それでは特にございませんので、議案第43号、「平成29年度一般会計補正予算第3

号原案承認の件」については承認いたします。

では、続きまして、議案第44号、「平成29年度全国学力・学習状況調査の結果公表の件」につきまして、学校教育課より説明をお願いします。

学校教育課長

議案第44号、「平成29年度全国学力・学習状況調査の結果公表の件」について、ご説明申し上げ承認を求めるものです。

【以下、議案書等により説明】

委員長

説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等はございますか。結果の書き方については、毎年同じような感じで特に変わらないと思いますが、内容についていかがでしょうか。

摂津市の全学年で学力定着度調査をしております。それでは毎年、少しずつ良くなっているという結果が出ていますが、小学校ではこの学力テストの問題の傾向が違うということで今回良くなかったのでしょうか。

学校教育課長

問題はもちろん全く同じではございませんし、少し傾向も違う所がありますので、一概に同じように測ることが出来ないかも知れませんが、おおよその目安として、比較をしました。

前年度の小学校の5年生が、対全国比でどうだったのかということは一定の目安になると思いましたが、5年生は、2年生から6年生の中で、最も厳しい結果に終わっていたのが、昨年度の結果でした。前年度の4年生の時よりも伸びていましたが、5年生は全ての学年の中で一番厳しい結果になっていましたので、今年度行われます全国の調査でも、厳しい結果になるかもしれないという予想はありました。その対全国比を5年生の時と今年度の全国の6年生の時を比べると、国語のAや算数のA、Bについては、ほぼ同じような結果でした。

ところが国語のBに関しては、5年生の時と比べますと、対全国平均比で言うと下がる結果となり、10校のうち8校で全国平均比が下がっていました。上がっている学校もあるのですが、国語のBに関して、取り組みが課題であると認識しています。

委員長	では、中学3年生の方は、小学校6年生の時にも学力テストを受けていますが、どのように分析されていますか。
学校教育課長	そちらの分析を今、行っているところでして、数値等をまだ出せていないのですが、小学生の時に比べて、大きく下げるような状況にはなっていません。
西川委員	この結果はそれぞれ各学校で持っていると思いますが、その中で、それぞれの各学校の校長先生等現場の方から、感想なり受け止めなりといったことが上がってきているのでしょうか。
学校教育課長	校長に対する学力向上に関するヒアリングをこの秋に実施しますので、その折に、校長の意向や学校の考え等を詳しく聞こうと思っています。 ただ、数人の校長からは、現在の6年生の状況を見て、「予想通りの厳しい結果となった」という声は聞いています。
委員長	小学校の研究授業、10校中9校で昨年度もしておりましたが、主に国語の活用の力、考えて書くこと、考える力を育てていますので、それを引き続き、がんばっていただきたいと思います。
西川委員	前年度の学力学習状況調査の時でも思ったことですが、平均というのは、課題を隠してしまうのではないかと思います。 正答率がすごく高い子もいるし、低い子もいます。それぞれの子どもに対してどうするか、あるいは、それぞれの学校の課題もあります。あるいは、その学校の課題ではなくて、その学年が持っている特有の課題もあります。 そのようなところを平均で並べて見てしまいますと、それぞれの課題が隠れてしまいますので、そこは正確に見ていかなければいけないのではないかと思います。そういう意味でも、各学校で分析をされる、各学年で個別に分析をされるということをぜひしていただきたいと思います。 また、「厳しい結果である」と事務局からありましたが、小学校は「昨年度よりきまりを守る児童が増加」であるとか、「昨年度より最後までやり遂げてうれしかったことがある、自分にはよいところ

があると思う」という自尊感情にかかわっては良い面が出ています。

あるいは、中学校でも「昨年度より数学では授業の内容がよく分かる生徒の割合が増加」してしまったり、「昨年度より人の役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合」が増加していたりということがあります。

学校訪問でまわらせていただいても、随分と現場の先生方が頑張っておられるという印象を持ったのですが、これまでの学力学習状況調査の中で、学習意欲が高い子どもの平均正答率が高いとか、自尊感情が高い子どもたちは平均正答性が高い、あるいは、生活習慣や規範意識も関連があるという結果が出てきています。

学力は数値化されて結果として出てきますが、一方では地道な努力をすることによってしか、効果が見えてこないものもあります。何か漢方薬のようにしっかり落とし込んでいくということがすごく大事であると思います。校長先生から「厳しい結果であった」という声があったということですが、今現場でしっかりとされていることを、引き続きがんばっていただきたいと思います。

即効性はないですが、それがいずれ効いてきて、子どもたちの力がついていくと思いますので、努力されていることを、自信を持ってしていただきたいと思います。

学校教育課長

結果は非常に厳しいものと受け止めてはおりますが、仰られたように、中には全国に及ばないものの、前年度を上回る様なものもいくつかあります。これらはピックアップしているものですが、それ以外のものでも、いくつか改善傾向にあるものもあります。

次のチャレンジテストの時には、またお話しさせていただこうと思っていますが、その授業の始めに「めあて」を提示したり、「振り返り」をすることは、ほとんどの中学校で定着しており、子どもたちの受け止めも向上してきていますので、授業の型については以前と比べますと、良くなってきていると思います。それでも、子どもたちの自尊感情をもっとより良い形に繋げていかなければいけないと思っていますので、引き続き、粘り強く行っていきたいと思っています。

山手委員

西川委員が仰ったことと同じことを私も思っていて、学校を

何年かまわらせていただいて、授業での熱心な先生達や子ども達の様子はよく理解しています。

ただ、気になるのが、家庭での勉強時間で、3、4時間とは言いませんが、宿題をするためには、何分かは机に向かわないといけません。それについて、学校も一生懸命していますが、家庭に発信して、家庭がそれを受けてくれるというのは、非常に難しいので、しゅくだい広場等、授業外にも受け皿を作っていたのですが、他にも良いものがないかとも思っています。

家庭での勉強時間はあまり増えませんし、ゲームをする時間は増えていますが、勉強時間を増やすために、宿題をもっと出したらいかがでしょうか。そうすると、宿題をしない子どもとの差が開いてしまうのでしょうか。宿題が出たら、する子もいるという安易な考えですが、家庭や地域に帰ってから、勉強する環境を整えていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

学校教育課長

学習時間の短さは、ずっと課題となっていて、今年度から摂津SUN SUN塾等を始めたり、しゅくだい広場や放課後しゅくだい広場等など、教育委員会としてもいろんな取り組みをしております。平日まったく勉強しない子どもたちもいますが、この中の何割かは、学校のしゅくだい広場で宿題してから帰っている子ども達もいると思っておりますので、これを全て否定的に受け止めなくて良いと思っています。

ただ、家で学校の宿題をしている子ども達の割合は、摂津の小学校では全国を超えていますので、宿題をきちんとやらなければならないという件については、去年と今年と良い結果になっていると思います。この辺りを軸にしながら、家庭での学習時間の重要性を保護者等に訴えていきながら取り組んでいきたいと思っております。

委員長

スマートフォンの使用については、スマホサミットが府教委で実施され、第三中学校の生徒会がそこで発表したことがありました。息子からも聞いたことがあるのですが、スマートフォンを持つことによって、成績が落ちるということは生徒自身も知っているそうです。どうしても欲しいと思い、持ってしまうと管理が効かなくなり、夢中になって勉強が疎かになるということも、子ども達自身も認識しているようです。そこをどう自己管理していけばいいのかと思

ます。そこには、意欲の問題が入ってくると思います。自尊感情や、がんばろうという力等、そこをどう育てていくのかということが、摂津市の子ども達にとって課題ではないのかと私は感じています。

教育長

今、いろいろとご意見をいただきましたので、今後の学校での教育活動に活かすように、指導していきたいと思えます。

この全国学力学習状況調査の問題は皆さんにも以前解いていただいたと思えますし、教育委員会事務局の部、課長も解きましたが、我々が小中学校の頃に受けたテスト問題と随分と違っています。この問題は、OECDによるPISA調査で明らかとされた、今求められている学力、その中でも、特に日本の子ども達が弱いであろうという問題、力を問うような問題が出題されています。

従って多くの子ども達にとっては、難しい問題であると思えます。そのような中で、各学校で先生方や子ども達は、一生懸命頑張ってくれていますが、残念ながら結果には結びついていないのが現状です。本市としましては全国学力学習状況調査以外に、先ほども出ていました定着度調査等、違うタイプの問題も活用しながら、子ども達の学力を測定してまいりたいと思えます。

先ほどもありましたように、11月ぐらいに各学校の管理職、教員に来ていただいて、それぞれの学校の課題や対策についてヒアリングをする時間を予定していますので、そこでも、それぞれの学校の課題に応じた対策を学校と教育委員会が一緒になって考えていきたいと思えます。

委員長

他に何かご意見・ご質問等はございますか。それでは特にございませんので、議案第44号、「平成29年度全国学力・学習状況調査の結果公表の件」については承認いたします。

では、続きまして、議案第45号、「平成29年度中学生チャレンジテスト（3年生）の結果公表の件」につきまして、学校教育課より説明をお願いします。

学校教育課長

議案第45号、「平成29年度中学生チャレンジテスト（3年生）の結果公表の件」について、ご説明申し上げ承認を求めるものです。

【以下、議案書等により説明】

委員長 説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等はございますか。

山手委員 28ページの1年時、2年時、3年時の比較がありますので、同じ子ども達の集団の成長の様子がわかりやすいと思いました。

委員長 主体的に学習に取り組む生徒が増えているということは非常に良い傾向だと思います。中学3年生で受験もありますので、ぜひ自分から勉強していきませんか、受験に臨めないということもありますし、あるいは、高校になってからも、自分から勉強しませんと何も身に付きませんので、それはとても良い傾向だと思います。

ただ、例えば、「社会の授業は内容はよくわかる」で、府平均に比べて「よくわかる」が多いのに、点数が去年に続き、良くないというのは、問題があるのではないかと思いますので、各校で取り組んでいただきたいと感じます。理科についても、課題が多いと思いますので、よろしくお願いします。

他に何かご意見・ご質問等はございますか。それでは特にございませんので、議案第45号、「平成29年度中学生チャレンジテスト（3年生）の結果公表の件」については承認いたします。

では、次に移ります。報告事項（1）事業実施に伴う後援等名義の使用許可について、総務課より説明をお願いします。

総務課長 [事業実施に伴う後援等名義の使用許可について説明]

委員長 説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等はございますか。それでは特にございませんので、次に進みます。（2）摂津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について、子育て支援課より説明をお願いします。

教育総務部参事 [摂津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について説明]

委員長 説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等はございますか。それでは特にございませんので、次に進みます。（3）摂津市家

庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について、こども教育課より説明をお願いします。

- こども教育課長 [摂津市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について説明]
- 委員長 説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等がございますか。それでは特にございませんので、次に進みます。(4)平成29年度8月までの問題行動等報告について、学校教育課より説明をお願いします。
- 学校教育課長 [平成29年度8月までの問題行動等報告について説明]
- 委員長 説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等がございますか。それでは特にございませんので、次に進みます。(6)各課事業日程報告について、総務課より説明をお願いします。
- 総務課長 [各課事業日程報告について説明]
- 委員長 説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等がございますか。それでは特にございませんので、次に進みます。その他(1)摂津市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(案)について、総務課より説明をお願いします。
- 総務課長 [摂津市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(案)について説明]
- 委員長 説明が終わりましたが、何かご意見・ご質問等がございますか。
- 山手委員 前回、AやBの評価について、もう少し市民の方が納得していただけるような書き方を工夫していただきたいと言いまして、文言の書き方もポイントが絞られました。例えば、11ページのところで、内容に「指導方法や指導体制を導入した」というものが前回の書き方だったのですが、それを「指導を行った」と変えてありましたし、

「体制を整えた」というものが、「指導・助言を行った」というように具体的な書き方にポイントを当てており、わかりやすくなりました。

また、今後の課題の書き方につきましても、しっかり捉えて書いていると感じましたので、信頼感がわくように思いましたし、今後の考え方、何を中心にしていくかが書かれていますので、とても良かったです。市民の方が納得できるような書き方だと思いました。

22ページにあります学校読書活動推進サポーターの方は各校に1人ずつの配置ですので、活動がばらばらになりますが、「各校の読書活動の取り組みを共有する」という文言が入りまして、「学校読書活動に係る担当者会を実施」とありましたので、非常に良いことだと思いました。

また、15ページで前回、障害児介助員や障害児児童支援員、スクールガードリーダーが載っていたのですが、なくなっているので、いかがでしょうか。

総務課長

今、山手委員からご指摘のありました、前回の事案は、摂津市が雇用し、学校に配置している人材のところでは障害児介助員、障害児等支援員を記載していましたが、今回の15ページに、「生きる力」の育成の10ページから43ページで、該当する人材について記載するよう改めています。

委員長

今回、体系図も載せていただいて、非常にわかりやすくなったことと、それから先ほど、山手委員の仰った一覧表も載せていただいてありがとうございます。

その一覧表について、左隅の白丸は必要でしょうか。白丸をなくし、左に寄せた方が目立って、わかりやすいのではないかと思いますし、それぞれ役割を書くのも良いのですが、人数だけ記載した方がアピールとしては見やすくていいのかと思います。

また、前回から気になっていたのですが、19ページの小学校教育用コンピューター授業、中学校教育用コンピューター授業の目標の「デジタル教科書の導入を見据え」ということが書いてあるのですが、摂津市もいずれはデジタル教科書を導入することを考えているのでしょうか。これは、突然、この文言が出てきたのですが、次の教科書採択の時には、デジタル教科書の導入を考えているという

ことでしょうか。

次世代育成部長

平成32年度から使用する小学校の教科用図書において、デジタル教科書と紙の教科書を併用することは、有識者会議等の結論では出ています。

国がどのように決定するのか、まだ見えてきませんが、導入されることはそう遠いことではありませんので、もしそうなった時のことも考えておかなければならないということで、文言を載せております。

ただ全く見えないのは、デジタル教科書そのものを無償で配るのかどうか、わかりませんし、全員に無償で配るのであれば、その端末もどうするのか、そういったことは今のところ、案としては示されていません。

委員長

一般的な話で、摂津市がそう進んでいるということではないということですね。

あと、8ページですが、こども園の管理・運営についての資料の最後の今後の課題のところ、「認定こども園の移行を見据え」とあるのですが、これも一般的な話なのでしょう。それとも摂津市としては、もう認定こども園に進む方向になっているのですか。

こども教育課長

今、べふこども園につきましては、実質的に保育所と幼稚園の子ども達と一緒に保育している状況です。今、国の流れといたしましては、幼保一元化というものの流れもあります。

認定こども園にするメリットもありますので、今後、具体的に認定こども園化という移行を見据えて、子ども子育て会議で意見をいただきながら検討を行っていきます。

委員長

まだ、決まってないということですね、一般的な話ということでしたら、先ほどのデジタル教科書と同じ扱いでよろしいですね。

これはもう知見者からご意見をいただいて、このような体裁になっているのですか。

総務課長

8月に知見者の方と事務局で、お話をさせていただき、見ていただきまして、この形に改めさせていただいたものを教育委員会に提

出させていただきます。

次回、10月の定例会で最終案を出させていただきますが、その前に知見者の方と教育委員との意見交換会がありますので、そこでご意見をいただき、最終的に、調整をしてご提示させていただきます。

教育長

知見者からいただいたご意見を紹介していただきたいと思えます。

総務課長

今回は、まず柏原先生から、子ども・子育て分野についてご意見をいただいています。

3点いただいています、1点目につきましては、べふこども園の取り組みについて評価していただいています。その中でも、保護者アンケートにつきまして回収率が目標の90%には満たないのですが、概ね肯定的な意見をいただき、保護者の満足度が高いと評価していただいています。

2点目につきましては、地域子育て支援センターのつどいの広場が年間、約4万人の方が参加しているというのは、非常に市の取り組みとして目を見張るものがあり、就学前の幼児教育は、小学校での子ども達の学力を向上させる基礎ですので、今後も続けて欲しいということです。

また、他市と比較しまして、非常に子育てに力を入れていますので、今後も自信を持って継続して欲しいという意見をいただいています。

次に、白井先生から、2点、意見・助言をいただいています。

1点目につきましては、これまでの数値目標が評価の基準であったということですが、摂津市の場合は、今後ステップアップする段階にあり、今後少子高齢化が進む中で、その土地に住む喜びや、満足度の評価が求められるのではないかとということです。

数値目標以外にそのような満足度、心を満たして、摂津市に長く居住することに繋がる人の意識、心の変化を調査して評価の基準とすることも必要になるのではないかとご意見をいただいています。

また2点目につきましては、毎年同じ流れで事業を行うのではなく、「今年度はこの事業に力点を置く」等、メリハリをつけることが

大事ではないかというご意見をいただいています。

最後に、島先生から、総括しての4点、ご意見をいただいています。

1点目につきましては、報告書の内容と構成について、評価するための根拠を明確にする必要があります。また、報告書自体については、グラフや表を組み合わせながら説明しており、大変わかりやすいものとなっています。ただ、目標、内容、成果、課題に重複した内容が書かれているケースもあることから、全体的なスリム化を図ることが求められるということをお願いしています。

2点目につきましては、事業数の減少を検討し、焦点化する事が大事です。少子化の再編整備計画等も重要になるという意見をいただいています。

3点目につきましては、教職員の育成で最も大切になることは、学校経営力であり、その実行のトップとなるのが校長であり、学校のシンクタンクやブレーンとしての役目を教育委員会事務局が今後担っていく必要があるというご意見をいただきました。

報告書の最後にある、教育委員の活動について、現場に直接お聞きして、肌で現場感覚を養っていることにつきましては、とても大切な事であると、ご意見をいただいています。

以上、3知見者からのご意見を報告させていただきます。

委員長

はい。ありがとうございます。

他に何かご質問ありませんか。この報告書をもって、また知見者との意見交換会を10月に臨むということによろしいでしょうか。

他に何かご意見・ご質問等はございますか。それでは特に質問等がないということですので、秘密会以外の審議につきましてはすべて終了いたしました。会議の始めにお諮りしましたとおり、ここで暫時休憩をとり、秘密会として再開いたします。関係者以外の方はこれで終了です。ご苦勞様でした。

では、暫時休憩します。

《暫時休憩》

委員長

それでは秘密会として再開します。

報告事項(5)「平成29年度8月までの問題行動等報告具体的

事案について」から審議を行います。学校教育課より説明をお願いします。

【以下、秘密会のため削除】

委員長

これにて秘密会を解きます。

では、本日の案件は全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の定例教育委員会議を終了いたします。
ご苦労様でした。